

Denka 平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成28年2月5日
上場取引所 東

上場会社名 デンカ株式会社

コード番号 4061 URL http://www.denka.co.jp

代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)吉高 紳介

問合せ先責任者 (役職名)IR室長 (氏名)大町 徹夫

(TEL)03-5290-5532

四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	277,459	△3.9	23,362	34.3	21,730	18.3	15,864	14.5
27年3月期第3四半期	288,836	3.0	17,400	5.5	18,374	8.2	13,853	21.2

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 14,892 百万円 (△15.3%) 27年3月期第3四半期 17,591 百万円 (20.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	34.89	—
27年3月期第3四半期	30.20	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	461,292	216,751	46.4	474.43
27年3月期	445,569	210,798	46.9	455.94

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 213,881 百万円 27年3月期 208,765 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	5.00	—	7.50	12.50
28年3月期	—	6.00	—		
28年3月期(予想)				6.50	12.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 27年3月期の期末配当金には創立100周年記念配当2円00銭を含んでおります。

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	375,000	△2.3	30,000	24.8	27,000	11.2	19,000	△0.1	41.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 一社(社名)、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、(添付資料) 4 ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期3Q	465,954,121株	27年3月期	465,954,121株	
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	15,136,587株	27年3月期	8,073,092株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期3Q	454,740,335株	27年3月期3Q	458,798,494株

28年3月期3Q

27年3月期

28年3月期3Q

27年3月期

28年3月期3Q

27年3月期3Q

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
4. 補足情報	11
平成28年3月期 第3四半期決算概要	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、期前半には個人消費や住宅投資などに持ち直しの動きが見られたものの、総じて力強さを欠き、直近では景気は足踏み状態となりました。世界経済は、全体としては緩やかな回復基調にありますが、中国やアジア新興国の一部では景気の減速が見られました。

このような経済環境のもと、当社グループは国内外での拡販や販売価格の是正およびコストの削減に努め、業容の拡大と収益の確保に注力いたしました。この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は2,774億59百万円と前年同期に比べ113億77百万円(3.9%)の減収となりましたが、収益面では、円安による輸出製品の手取り増加や原燃料価格の下落による樹脂、加工製品の採算改善などが収益拡大に寄与し、営業利益は233億62百万円(前年同期比59億61百万円増、34.3%増益)、経常利益は217億30百万円(前年同期比33億55百万円増、18.3%増益)、親会社株主に帰属する四半期純利益は158億64百万円(前年同期比20億10百万円増、14.5%増益)と、それぞれ第3四半期連結累計期間として過去最高益となりました。

<エラストマー・機能樹脂部門>

当部門の売上高は1,165億89百万円と前年同期に比べ84億66百万円(6.8%)の減収となりました。

クロロプレンゴムは円安による手取り増加はありましたが販売数量は前年を下回り減収となりました。スチレンモノマーやデンカシンガポール社のポリスチレン樹脂等の販売は順調に推移しましたが、原材料価格の下落に伴い販売価格が下落し減収となりました。

<インフラ・無機材料部門>

当部門の売上高は364億89百万円と前年同期に比べ8億70百万円(2.4%)の増収となりました。

特殊混和材は国内外で販売数量が増加し増収となりましたが、セメントの国内販売や肥料は販売数量が減少し減収となりました。

<電子・先端プロダクツ部門>

当部門の売上高は337億10百万円と前年同期に比べ18億76百万円(5.3%)の減収となりました。

LED用サイアロン蛍光体“アロンブライト”は販売数量が増加し増収となりましたが、電子回路基板や電子部品・半導体搬送資材用の機能フィルムは販売数量が減少し減収となりました。

<生活・環境プロダクツ部門>

当部門の売上高は605億67百万円と前年同期に比べ10億96百万円(1.8%)の減収となりました。

合繊かつら用原糸“トヨカロン”は販売数量増および円安による手取り増加により増収となり、食品包材用シートやデンカポリマー株式会社の加工品の販売も順調に推移しましたが、プラスチック雨どいや工業用テープは販売数量が減少し減収となりました。医薬品ではデンカ生研株式会社のインフルエンザワクチンは増収となり、試薬の販売は前年同期並みとなりました。

<その他部門>

当部門の売上高は301億2百万円と前年同期に比べ8億8百万円(2.6%)の減収となりました。

株式会社アクロス商事等の商社は取扱量が前年同期並みとなりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ157億22百万円増加の4,612億92百万円となりました。流動資産は、売上債権の増加などにより前連結会計年度末に比べ124億35百万円増加の1,829億32百万円となりました。固定資産は、ドイツのバイオ医薬品研究開発企業であるIcon Genetics GmbHの買収に伴うのれんの増加などにより前連結会計年度末に比べ32億87百万円増加の2,783億59百万円となりました。

負債は、借入金の増加などにより前連結会計年度末に比べ97億69百万円増加の2,445億40百万円となりました。

非支配株主持分を含めた純資産は前連結会計年度末に比べ59億53百万円増加して2,167億51百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の46.9%から46.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年11月9日に公表いたしました連結業績予想からの変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、POSCO Sdn. Bhd. (平成27年6月9日付でDenka Infrastructure Malaysia Sdn. Bhd.へ社名を変更)の株式を追加取得したことに伴い、第1四半期連結会計期間より、同社及び同社の連結子会社5社を連結の範囲に含めております。

同じく第1四半期連結会計期間より、前連結会計年度まで非連結子会社であったDenka Advanced Materials Vietnam Co., Ltd.は、重要性が増したため連結の範囲に含めております。

また、第2四半期連結会計期間より、新たに株式を取得したIcon Genetics GmbHを連結の範囲に含めており、非連結子会社であったDenka Performance Elastomer LLCほか1社は米DuPont社からの事業譲受完了に伴い重要性が増したため、当第3四半期連結会計期間から連結の範囲に含めております。ただし、Denka Performance Elastomer LLCほか1社の決算日は連結決算日と異なり、同社の第3四半期会計期間末日は9月末日のため、当第3四半期連結会計期間末日では、当該事業譲受けは四半期連結財務諸表に反映されておられません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、上記の変更により、四半期連結財務諸表に与える影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,219	20,064
受取手形及び売掛金	83,172	87,614
商品及び製品	44,103	43,903
仕掛品	2,725	2,406
原材料及び貯蔵品	17,687	17,573
繰延税金資産	1,994	1,227
その他	11,851	10,365
貸倒引当金	△256	△222
流動資産合計	170,497	182,932
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	55,082	58,688
機械装置及び運搬具（純額）	74,636	75,103
工具、器具及び備品（純額）	2,481	2,921
土地	63,303	63,290
リース資産（純額）	344	373
建設仮勘定	16,014	10,927
有形固定資産合計	211,864	211,305
無形固定資産		
特許権	744	648
ソフトウェア	574	648
のれん	—	5,116
その他	190	1,027
無形固定資産合計	1,509	7,441
投資その他の資産		
投資有価証券	55,356	53,210
長期貸付金	1,430	1,354
繰延税金資産	915	761
その他	4,037	4,317
貸倒引当金	△42	△31
投資その他の資産合計	61,698	59,612
固定資産合計	275,071	278,359
資産合計	445,569	461,292

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	47,401	48,001
短期借入金	47,456	45,164
コマーシャル・ペーパー	9,000	13,000
1年内返済予定の長期借入金	12,570	20,467
未払法人税等	5,525	2,333
未払消費税等	1,799	1,327
繰延税金負債	3	1
賞与引当金	2,544	881
その他	33,800	34,416
流動負債合計	160,101	165,594
固定負債		
社債	30,000	30,000
長期借入金	23,509	27,949
繰延税金負債	6,114	6,184
再評価に係る繰延税金負債	8,879	8,879
退職給付に係る負債	5,262	4,983
その他	903	950
固定負債合計	74,669	78,945
負債合計	234,771	244,540
純資産の部		
株主資本		
資本金	36,998	36,998
資本剰余金	49,284	49,284
利益剰余金	99,080	108,732
自己株式	△2,641	△6,355
株主資本合計	182,722	188,660
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,231	12,816
土地再評価差額金	9,795	9,795
為替換算調整勘定	3,174	2,726
退職給付に係る調整累計額	△158	△117
その他の包括利益累計額合計	26,043	25,220
非支配株主持分	2,032	2,870
純資産合計	210,798	216,751
負債純資産合計	445,569	461,292

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	288,836	277,459
売上原価	228,290	208,728
売上総利益	60,546	68,730
販売費及び一般管理費	43,146	45,368
営業利益	17,400	23,362
営業外収益		
受取利息	43	53
受取配当金	1,123	964
持分法による投資利益	456	667
為替差益	1,885	—
その他	344	626
営業外収益合計	3,854	2,311
営業外費用		
支払利息	707	648
固定資産処分損	586	871
操業休止等経費	538	1,087
為替差損	—	69
その他	1,046	1,265
営業外費用合計	2,879	3,943
経常利益	18,374	21,730
特別利益		
固定資産売却益	1,204	—
特別利益合計	1,204	—
特別損失		
買収関連費用	—	632
特別損失合計	—	632
税金等調整前四半期純利益	19,579	21,097
法人税、住民税及び事業税	5,650	5,232
四半期純利益	13,929	15,865
非支配株主に帰属する四半期純利益	75	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	13,853	15,864

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	13,929	15,865
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,606	△377
為替換算調整勘定	739	△581
退職給付に係る調整額	210	40
持分法適用会社に対する持分相当額	105	△53
その他の包括利益合計	3,661	△972
四半期包括利益	17,591	14,892
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	17,421	14,922
非支配株主に係る四半期包括利益	169	△29

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行および株主価値の向上を図るため、平成27年5月12日開催の取締役会決議に基づき、当第3四半期連結累計期間において自己株式の取得を行っております。

(自己株式の取得)

当第3四半期連結累計期間において自己株式が37億14百万円増加しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	エラスト マー・機 能樹脂	インフ ラ・無機 材料	電子・先 端プロダ クツ	生活・環 境プロダ クツ	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	125,055	35,618	35,587	61,664	257,925	30,911	288,836	—	288,836
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	132	1	—	4	137	4,005	4,143	(4,143)	—
計	125,188	35,619	35,587	61,668	258,063	34,916	292,980	(4,143)	288,836
セグメント利益	2,835	2,244	4,035	7,274	16,389	945	17,334	65	17,400

(注) 1. 「その他事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プラントエンジニアリング事業、商社事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額65百万円は、セグメント間取引消去によるものです。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 地域ごとの売上高に関する情報

(単位：百万円)

	日本	海外			合計
		アジア	その他	計	
売上高	185,831	75,639	27,365	103,005	288,836
連結売上高に占める割合 (%)	64.3	26.2	9.5	35.7	100.0

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 事業 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	エラスト マー・機 能樹脂	インフ ラ・無機 材料	電子・先 端プロダ クツ	生活・環 境プロダ クツ	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	116,589	36,489	33,710	60,567	247,356	30,102	277,459	—	277,459
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	120	—	—	—	120	3,372	3,492	(3,492)	—
計	116,709	36,489	33,710	60,567	247,476	33,475	280,951	(3,492)	277,459
セグメント利益	8,539	663	4,224	8,965	22,392	900	23,293	68	23,362

(注) 1. 「その他事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プラントエンジニアリング事業、商社事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額68百万円は、セグメント間取引消去によるものです。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 地域ごとの売上高に関する情報

(単位：百万円)

	日本	海外			合計
		アジア	その他	計	
売上高	175,556	75,148	26,754	101,902	277,459
連結売上高に占める割合 (%)	63.3	27.1	9.6	36.7	100.0

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

4. 補足情報

平成28年3月期 第3四半期決算概要

平成28年2月5日
デンカ株式会社

1. 業績の概要

【総括（進捗度・当初予想比）】

- ・当第3四半期実績は、原燃料安による樹脂、加工製品の採算改善や、円安による輸出製品の手取り増が収益に寄与し、前年同期に比べて60億円増益の234億円（通期予想進捗率78%）となり、また、経常利益は217億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は159億円と、それぞれ第3四半期累計としては過去最高となりました。
- ・先行きの不透明感は増しておりますが、当社は、通期業績予想の営業利益300億円を達成することで、営業利益の過去最高更新を目指します。

【セグメント別状況（第3四半期前年同期比・第4四半期と通期の見通し）】

- ・エラストマー・機能樹脂は、原燃料安による国内外スチレン系樹脂のスプレッド改善や、円安によるクロロプレンゴムの手取り増などから増益となりました。第4四半期もこの基調が続く見通しです。
- ・インフラ・無機材料は、特殊混和材が国内外で数量を伸ばしたものの、セメント国内販売や肥料は出荷減となり、減益となりました。第4四半期も総じて厳しい状況が続くものと見ております。
- ・電子・先端プロダクツは、電子回路基板や機能フィルムの販売数量が減少しましたが、蛍光体の販売が伸びたことなどで増益となりました。第4四半期もこうした状況が続くと見ております。
- ・生活・環境プロダクツ部門は、インフルエンザワクチンの売上が伸び、樹脂加工製品の採算が改善したこと等から増益となりました。通期でも予想利益を達成できる見通しです。

【業績】

(単位:億円)

	平成28年3月期 第3四半期実績 (4-12月)	平成27年3月期 第3四半期実績 (4-12月)	増減	平成28年3月期 年度予想 (4-3月)	平成27年3月期 年度実績 (4-3月)
売上高	2,775	2,888	△ 114	3,750	3,840
営業利益	234	174	60	300	240
経常利益	217	184	34	270	243
親会社株主に帰属する四半期純利益	159	139	20	190	190

2. セグメント別 連結売上高・営業利益

(単位:億円)

		平成28年3月期 第3四半期実績 (4-12月)	平成27年3月期 第3四半期実績 (4-12月)	増減	平成28年3月期 年度予想 (4-3月)	平成27年3月期 年度実績 (4-3月)
エラストマー・ 機能樹脂	売上高	1,166	1,251	△ 85	1,550	1,663
	営業利益	85	28	57	110	44
インフラ・ 無機材料	売上高	365	356	9	500	478
	営業利益	7	22	△ 16	10	27
電子・先端 プロダクツ	売上高	337	356	△ 19	450	483
	営業利益	42	40	2	60	64
生活・環境 プロダクツ	売上高	606	617	△ 11	800	802
	営業利益	90	73	17	110	92
その他	売上高	301	309	△ 8	450	414
	営業利益	9	9	△ 0	10	13
消去差	売上高	-	-	-	-	-
	営業利益	1	1	0	-	1
合計	売上高	2,775	2,888	△ 114	3,750	3,840
	営業利益	234	174	60	300	240

3. 参考数値・前提

(単位:億円)

	平成28年3月期 第3四半期実績 (4-12月)	平成27年3月期 第3四半期実績 (4-12月)	増 減	平成28年3月期	平成27年3月期	
				年度予想 (4-3月)	年度実績 (4-3月)	
投 融 資	設備投資	149	142	6	280	213
	そ の 他	127	23	104	130	47
	計	275	165	110	410	260
減 価 償 却 費	172	172	0	230	230	
研 究 開 発 費	87	83	4	117	111	
有利子負債残高	1,366	1,289	76	1,300	1,225	

	平成28年3月期 第3四半期実績 (4-12月)	平成27年3月期 第3四半期実績 (4-12月)	平成28年3月期 年度予想 (4-3月)	平成27年3月期 年度実績 (4-3月)
為替レート [円/\$]	121.7	106.9	121.0	109.9
国産ナフサ [円/kl]	46,000	68,600	43,700	63,700

4. セグメント別 連結売上高増減内訳

(単位:億円)

	売 上 高				
	平成28年3月期 第3四半期実績 (4-12月)	平成27年3月期 第3四半期実績 (4-12月)	増 減	増減の内訳	
				販売価格差	数量差
エラストマー・機能樹脂	1,166	1,251	△ 85	△ 120	36
インフラ・無機材料	365	356	9	3	6
電子・先端プロダクツ	337	356	△ 19	4	△ 23
生活・環境プロダクツ	606	617	△ 11	17	△ 28
そ の 他	301	309	△ 8	-	△ 8
合 計	2,775	2,888	△ 114	△ 97	△ 17

5. セグメント別 連結営業利益増減内訳

(単位:億円)

	営 業 利 益					
	平成28年3月期 第3四半期実績 (4-12月)	平成27年3月期 第3四半期実績 (4-12月)	増 減	増減の内訳		
				販売価格差	数量差	コスト差等
エラストマー・機能樹脂	85	28	57	△ 120	△ 8	185
インフラ・無機材料	7	22	△ 16	3	△ 1	△ 18
電子・先端プロダクツ	42	40	2	4	△ 7	5
生活・環境プロダクツ	90	73	17	17	△ 23	23
そ の 他	9	9	△ 0	-	△ 0	△ 0
消 去 差	1	1	0	-	-	0
合 計	234	174	60	△ 97	△ 40	196